



白山市



2021年5月28日  
白山市  
イオン株式会社

## 白山市とイオン株式会社との地域貢献連携協定の締結について

石川県白山市（市長：山田 憲昭）とイオン株式会社（取締役兼代表執行役社長：吉田 昭夫）は、地域のさらなる活性化と市民サービスの向上を図ることを目的に、本日、地域貢献連携協定を締結しました。

白山市とイオンは、地域貢献連携協定において、地域振興や地域防災の協力など、幅広い分野で、緊密な連携を図ります。

本協定の取り組みの一環として、イオンは7月中旬よりご当地WAON「白山TEDORIGA WAON」を発行いたします。カードの表面には、白山手取川ジオパークを背景に、“白山の雪”と“雪解け水”をモチーフにしたイメージキャラクターの「ゆきママとしずくちゃん」がデザインされています。

イオンは、2009年より日本各地の自治体との連携のもと、利用金額の一部が地域社会への貢献につながる「ご当地WAON」の発行を行っており、今回発行される「白山TEDORIGA WAON」を含め合計158種類を発行しています。今回新たに発行する「白山TEDORIGA WAON」を全国約80万カ所のWAON加盟店でご利用いただくと、その売上金額の一部をイオンが白山市に寄付し、白山市の地域活性化やまちづくりにお役立ていただきます。

本協定を機に、白山市とイオンは連携して、地域の活性化や市民の皆さまへの新しいサービスの創出に取り組んでまいります。

### 【地域貢献連携協定の概要】

- (1) ICカードの活用等による地域振興に関する事
- (2) 地産地消・農商工連携の推進、産品オリジナル商品の開発と販売に関する事
- (3) 白山手取川ジオパーク、白山ユネスコエコパークに関する事
- (4) 観光情報・振興に関する事
- (5) 地域防災への協力に関する事
- (6) 地域の安全・安心に関する事
- (7) 健康増進・食育に関する事
- (8) SDGsの推進に関する事
- (9) 高齢者・障がい者支援に関する事
- (10) 子ども・青少年の育成に関する事
- (11) 環境対策、リサイクルに関する事
- (12) 市政情報PR・発信に関する事
- (13) その他、地域の活性化及び市民サービスの向上に関する事

## 【ご参考】

### 「白山TEDORIGA WAON」の概要

- ・販売開始：2021年7月中旬
- ・販売場所：石川県内の総合スーパー「イオン」を中心に販売いたします。  
※順次販売エリアを拡大の予定
- ・発行手数料：1枚300円（税込）
- ・ポイント特典：イオンのグループ対象店舗にてご利用金額200円（税込）ごとに2WAONポイントが貯まります。  
※あらかじめ会員登録が完了した電子マネーWAONの支払いが対象  
※上記以外の加盟店では200円（税込）ごとに1WAONポイントが貯まります。  
WAONポイントをWAON（電子マネー）に交換すると、  
1ポイント=1円相当で使うことができます。
- ・寄付について：「白山TEDORIGA WAON」ご利用金額の一部をイオンより  
白山市に寄付し、白山市の地域活性、まちづくりを通じて、地域振興に  
つながる事業にお役立ていただきます。



<表面>



<裏面>

### 「WAON」の概要

イオンが提供する電子マネー。チャージ(入金)するとお買い物などにご利用が可能で、ポイントもたまります。

- ・累計発行枚数：約8,691万枚（2021年4月末現在）
- ・利用可能カ所：約80万カ所（2021年4月末現在）  
※うち自動販売機・宅配便ドライバー端末 約28万7,000カ所
- ・「ご当地WAON」の総寄付額：約20億1,131万円（2021年2月末現在）

## 「白山の森」に関する共同宣言について

2021年1月18日（月）に、白山市、株式会社クスリのアオキホールディングス、イオン株式会社と公益財団法人イオン環境財団は、地域創生を目指し「白山の森」に関する共同宣言を行いました。

白山市は、県内最大の河川である手取川の流域に位置し、日本三名山の白山を有し、1980年に白山ユネスコエコパークとして登録、2011年に白山手取川ジオパークとして認定、2018年に内閣府よりSDGs未来都市に選定されている自然に恵まれた地域です。

4者は、白山の持続可能な地域社会の発展と実現に貢献するため、環境と経済が両立した地域循環共生圏の構築を目指し、人と自然が共生する環境にやさしいまちとして「白山の森」を構築します。白山ユネスコエコパークや白山手取川ジオパーク、また「アオキの森」や「イオンの森」といった新たな森の創出、そしてイオンモール白山等、自然・コミュニティ・福祉・社会インフラを、環境・生活・地域社会の観点から多面的に融合し、持続可能な社会の実現に向け取り組んでまいります。今後、早稲田大学環境総合研究センターと協働し、学術的知見を活かし産学官民連携のもと新たな里山づくりの実現も進めてまいります。

また、白山市とイオンは「地域連携協定」、「災害時における避難施設等の使用に関する協定」、「災害時等における救援物資の協力に関する協定」を結び地域社会の生活インフラをさらに推進していく予定です。

次代を担う子どもたちに、持続可能な地域といのちあふれる美しい地球を引き継ぐため、これからも4者は連携を強化し、様々な社会貢献活動を積極的に推進してまいります。

### 【共同宣言概要】

白山市、株式会社クスリのアオキホールディングス、イオン株式会社、公益財団法人イオン環境財団は連携・協力し、人と環境にやさしいまちである「白山の森」づくりを推進します。  
この取り組みは、人と自然が共生するとともに、健康で活気に満ちた白山市を目指し、持続可能な地域社会の発展と実現に貢献していきます。